

『筑波山登山に見る非認知能力』

2017年の保育指針が改定になり、幼児教育を行う施設(こども園、保育園、幼稚園等)では「養護と教育の一体的展開」が強く求められるようになりました。

教育というと、国語や算数のような認知的なことをイメージする方が多いと思いますが、実は幼児期の「教育」というのは就学後に認知的な学びを吸収しやすいような基礎(土台)を作ることが目的となります。この部分がおろそかになると就学後から成長期にかけて大きな影響が出てくると言われています。つばさでもこども園になり、この部分に力を入れてきました。ただ、見えない力、故に身につけているのかな?と不安にもなります。しかし、この不安を払拭するような出来事が最近ありましたので、ご紹介致します。

10月2日(金)らいおん組(年長)の筑波山登山での出来事です。体力的、気持ち的に少し心配な子もいる中、登山をスタートしました。しっかりした足取りで山頂を目指します。大人でも大変な急斜面もありましたが、驚くことに誰一人として駄々をこねたり、泣いたりする子がいません。それどころか、子どもたちはお互いを励まし合い、ひとつの目標(山頂を目指す)に邁進していました。これには出会う方々、特に外国の方は大変驚いていました。実はこの姿こそが子どもたちの中にしっかりと非認知能力が養われている証なのです。この子たちはこれから先も困難なことも投げ出さず、目標を達成できる力が養われているので大丈夫だという安堵の気持ちにすなりました。

このように幼児期における教育とは非認知能力的な学びが重要になり、この時期にしか学ぶことができない大事な教育になります。

秋の虫、発見!

10月に子幼小中交流事業で、新利根中学校様からのお声掛けがあり、4歳児・5歳児さんが新利根中学校の“自然観察エリア”に虫探しに行かせて頂きました。自然の草原の中に、秋の昆虫がた〜くさん!!虫が大好きな男の子も、怖がっていた女の子も、保育者も、次々に現れる虫を追いかけることに夢中になりました。心地よい風、草の匂い、くすぐったい猫じゃらし・・・いろいろな感覚を研ぎ澄ましながら、コオロギ・イナゴ・バッタ・カマキリ・てんとう虫などを見つけ、まるで宝探しのように時間が過ぎました。行き帰りのお散歩は、交通ルールを確認しながら、憧れの新利根小学校を通りました♪捕まえた虫を図鑑で調べながら、お友達の間で話がはずんでいました♪

中学校の先生方、良い体験をありがとうございました。

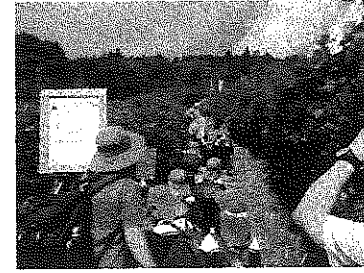


園の思い出行事

《☆筑波山登山頑張りました☆》

お天気にも恵まれ、出発した筑波山登山!実際に山を目の前にすると、山の迫力に少し圧倒されていましたが、やる気十分な子どもたちは元気良くスタートしました。途中泣いてしまう子もなく、ボランティアのお父さん方の励ましに支えられながら山頂まで全員が登りきることが出来ました☆

そして、楽しみにしていたお弁当の時間。登り切った達成感を感じながら食べる愛情たっぷりのお弁当は、格別の味だったことでしょう♪友達同士で助け合い、励まし合い、たくましく進んで行く姿に頼もしさを感じた一日となりました。



11月の行事予定	
3日(火)	文化の日
5日(木)	笠間松佐陶工房(5歳児)
12日(木)	運動遊びお茶会(5歳児)
13日(金)	七五三集会
16日(月)	絵本の日カボチャ狩り
17日(火)	英語で遊ぼう
18日(水)	みかん狩り(5歳児)
19日(木)	焼き芋パーティー(場所:保育園パンダ)
20日(金)	身体測定
23日(月)	勤労感謝の日
25日(水)	避難訓練
26日(木)	運動遊び
30日(金)	誕生会お弁当の日

12月の行事予定	
1日(火)	英語で遊ぼう
10日(木)	運動遊びお茶会(5歳児)
15日(火)	英語で遊ぼう
17日(木)	発表会・お弁当の日
18日(金)	誕生会・クリスマス会
21日(月)	絵本の日・身体測定終業式(幼稚園部)
23日(水)	避難訓練
24日(木)	運動遊び
28日(月)	保育納め(保育園部)
30日(水)	年末休園日
31日(木)	

地域交流支援活動



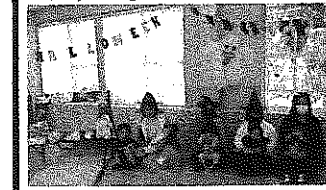
夏の終わりに蒔いたコスモスの花畑と赤ちゃん達の姿です。

子育て支援センターつばさ・こども園支援室

今月は、スポーツの秋にちなんで親子で楽しめる運動遊び『スポっちゃお!!』を行いました。くもの巣に見立てたゴムひもをくぐったり、くねくね橋を渡ったり、親子で手を繋いでトランポリンをしたりと、小さいお友だちから大きいお子さんまで、みんな元気に体を動かして笑顔で参加する様子がたくさん見られました。



『ハロウィンを楽しもう♪』では、当日かわいらしい仮装をして来園してくれたお子さん達と、マント作りをしてお庭にお菓子を集めにでかけたり、ハロウィンの大型絵本や手遊びを楽しんだりと季節ならではのイベントを、地域の親子さんと一緒に楽しむ事ができました。



日に日に寒さが増してくるこの時期ですが、支援センター・支援室はいつでも地域の親子さんのお越しをばかばか笑顔でお待ちしています。♪

小規模保育園パンダ



早いもので11月7日は立冬、暦の上ではもう冬です。これから少しずつ寒さが厳しくなりますが、今まで以上に体を動かしてたくさん遊んでいきたいと思っています。

さて、先日行いました運動会ごっこ「パンダ園のうんどうかい」は、0歳から2歳児までの園児一人ひとりが、今自分ができるとの最高の頑張りを見せてくれました。その様子を撮ったビデオを大きなテレビの前で、みんなで楽しみました。「運動会の歌」のサビの部分では「エイ♪エイ♪オー!!」と歌いながら拳を元気に振り上げたり、お友達のかけっこ映像を見ては拍手をしながら応援したり、とてもよく集中して見ていて職員にとっても微笑ましい時間でした。また、ひよこ組のお友達が出てくると「○○ちゃん」と嬉しそうに名前を呼んであげていたのも印象的でした。こうした姿は、毎日生活をともにしているお友達同士だからこその姿だと思います。そうした様子は、職員にとっても励みになります。笑顔いっぱい運動会、笑顔いっぱい保育園、いいですね。これからも子どもたちのたくさんの笑顔大切にしていきたいと思います。

